

ASA

ずうぼらだよい

第102号
2023年 2月20日



安佐動物公園ホームページより

1月25日(水)

夜から雪が降り始め、asazooでは25cmほどの積雪に。臨時休園になりました。

2月4日(土)に作業ボラの活動に行った時にもまだあちこちに雪が残っていました。今年はずいぶん寒い。春が待ち遠しいです。



2月4日(土)

寒くても、風が強くても咲きます。今年にはハンギングのビオラの株数を減らして植えたのですが、よく育ち丸い形になりました。お客さんが、「きれいな花があるよ。」と話されているのを偶然近くで聞きうれしくなりました。

102号 もくじ

- | | |
|--------------------|-----|
| ・連絡会の報告 | 2~4 |
| ・特別研修の報告 | |
| ・作業ボランティア報告 | 5 |
| ・ひつじ村から・ボランティアの皆様へ | 6 |
| ・動物園ニュース | 7 |





連絡会報告

今年度もコロナ禍の中ではありましたが、少しずつ日常を取り戻し、ボランティア活動もみなさんといろいろと工夫しながら停滞することなく進めていくことができました。それでも、ガイドボランティアではまだ以前のようにお客さんに自由に展示物を触っていただくことはできませんでした。作業ボランティアでは、お疲れ様のお茶を飲みながらその日の作業を振り返ることはできませんでした。ただ、できないことを嘆くだけでなく、今できることを大切にしながら来年度こそはと期待したいです。

今回も多数の方に参加をしていただき、中身の濃い連絡会にすることができました。

<連絡会>

日時：2月5日(日) 10:00~

参加者：Kさん、Fさん、Oさん、Mさん、Cさん、Kさん、Mさん、Tさん、Iさん、Yさん、

Oさん、Hさん、Sさん、Sさん、Sさん、Hさん、Nさん、Sさん、Nさん、Tさん、園より梅田さん

司会：Oさん

* 今回の主な議題

1. 安佐動物公園の現状について(梅田さんより)

○最近の動物の動向

- ・マレーバクのヒコボシが1/5に死亡
- ・クジャクの雄が死亡
- ・大鳥舎はネットの張り替えのため展示中止
- ・はちゅうるい館しばらく閉館していたが、2/13再開
- ・ことりの家、インコの森は鳥インフルエンザ対策のため展示中止

○動物園イベント「動物かるたで遊ぼうよ!」「動物園でどうぶつめりえ」への補助、ありがとうございました。

○来年度ボランティア養成講座にガイドボラ5名、作業ボラ8名の応募がありました。

○電子連絡への切り替えを希望され、アドレスの返信があった方は、2月からメールに変更する予定でしたが、「意向調査」「役員改選」があるため今回も紙面での返信をお願いします。まだハガキが返ってきていない方も全体の三分の一ほどいるので、早めに切り替えの有無の意向を動物園へお知らせください。

○令和5年度の養成講座の予定について

2/25(土) 第1回目 「ガイド」・「作業」合同で 午前：座学、午後：園内見学

3/4(土) 「作業」 作業ボラの活動を見学・交流

3/11(土) または19(日) 「ガイド」 担当希望動物のレクチャーを受ける

それに合わせて既存のメンバーが10時~12時の間各々ガイドを行い見学してもらう。

4/2(日) 午前：最終実技 午後：13時~「令和5年度 ASAZOO ボランティアーズ総会」



2. 来年度に向けて意見を(今年度の反省・振り返りを含む)

○ボランティア規約に年8回は活動に参加することとある。最初はできるだろうかと思ったが、「強化月間」や「みんなでガイドの日」に参加するうちに、年8回行けるかも⇒月に1回はできそう⇒月に2回の参加もできそうという気持ちになって来た。それは楽しかったから。生活にメリハリがついた。

○月に2回「みんなでガイドの日」があることで、行ったら誰かにあえるかもと思えたり、行ける日を選ぶことができたりしたのは良かった。

- 無理をせず、来れる時に来たらよい。間があいてしまっても、堂々と来て欲しい。一人でガイドをするのもいいが、行ったらだれかがいて一緒にできるのもいい。仲間づくりが大切。
- 今年度4・5月は毎週、その後は月に2回のペースで「みんなでガイド」をした成果があった。来年もこの取組は継続したらよいと思う。
- ガイドと作業の兼務だと、第1第3の土日は連日の活動で大変なこともあった。でも、動物園に来ることや動物好きな人と話すのは楽しい。
- ナイトサファリの時、今年度初めてステージでナイトガイドをした。(来年度もステージでやらせてもらえるかもしれない) 実施に向けてはしっかりした準備が必要だ。
- ボラのイベント「〇〇まつり」ができるのではないかと。ステージでのナイトガイドなど経験が増えたので、反省を踏まえて「ナイトガイド」「〇〇まつり」2つのイベントに取り組んでみたい。⇒4月の総会で提案し承認が得られたら
- 園内散策(園外研修に代えて)を5月に実施したい。〈植物観察、自然遊び、野鳥観察〉

3. 6月17日に島根県立三瓶自然観サヒメルのボランティアから交流の申し込みが来ている。実施に向けて協力をお願いします。

4. 役員選出について

役員の任期(代表は3年、副代表は2年、幹事・会計・記録広報・会計監査は1年。ただし、再任は妨げない。)を設けることが決まって令和5年度は4年目です。

役員改選の時期になりました。コロナで大変な年を共に頑張っていたいただいた役員の方々には、心よりお礼申し上げます。経験を生かして来年度も是非引き続きお願いします。加えて、世代交代がスムーズにいくよう、新たに役員としてやってみようという方、大歓迎です。自薦はもちろんのこと他薦もお願いします。他薦された方には連絡をさせていただきますので、その折はよろしくをお願いします。

・役員の体制はこれまで通りで行います。幹事や記録広報などは、人数は必要に応じて増やすことがあります。

・新しい方にもどんどん役員になっていただきたいので、遠慮せず手を挙げてください。人数が増え一人一人への負担も少なくなり皆で盛り立てていきます。

5. 毎年この時期に次年度の「ボランティア活動継続意向調査」を行います。期日までの回答をお願いします。この機会に、一年を振り返るとともに、来年度のボランティア活動への計画を立ててみましょう。「ボランティア活動要綱」に休会期間が3年を超える者は、登録抹消となっていますので、現在休会しているがボランティアを続けたいとも思っている方はご注意ください。

6. 令和5年度総会について

令和5年度総会は、4月2日(日) **13:00**から、動物科学館2F ホールにて行います。ガイドボラ、作業ボラが一堂に会する年に一度の総会です。また、新旧ボランティアが顔を合わ

せる貴重な機会です。皆さんの予定表に入れておいてください。よろしくお願いします。

※午前はガイドボラ養成講座の最終実技の予定なので、総会は午後からです。

7. ガイドボランティアの活動について

今後の予定

- 3月**：3月5日(日) 10:00からスポットガイド(9:45 ボラ室に集合)
 久しぶりの「みんなでガイドの日」です。春です。外に出てガイドをしましょう。
 3月11日(土)または19日(日)養成講座の研修に合わせて「みんなでガイド」をして見学してもらったり交流したりしましょう。
- 4月**：4月2日(日)の総会でガイドボランティア強化月間(仮称)が承認されたら、毎週日曜日を「みんなでガイドの日」とし、参加できる日にガイドをしましょう。新規ボランティアの方にも、参加を呼びかけます。しばらくガイドをされていない方も是非ご参加ください。

8. 年会費について

令和4年度に内規ができ、年会費を集めて「ずうぼらだより」の送料として使いました。変更はありません。内訳は総会で会計報告をします。



研修「飼育係さんから直接レクチャー2023」



今年も、1・2月の「みんなでガイド」のお休みを活用して、皆さんからの希望により特別研修を実施しました。コロナ禍以降、バックヤードガイドも中止されていたり、飼育係さんから直接お話を聞く機会も少なくなったりしていました。コロナ禍が終わったわけではないので、あらかじめ希望を募り、動物種と日時を調整して、飼育係さんからのレクチャーを受けることができました。(この日実施出来なかった方で、希望される方は梅田さんにご相談を)

【日時】2月5日(日) 11:30～または13:00～

【実施動物】マレーバク：Oさん、Yさん、Nさん 小獣：Sさん レッサーパンダ：Fさん クロサイ：Mさん キリンとダチョウ：Iさん、Hさん、Dさん タンチョウ：Mさん、Sさん

今回は、広報による追っかけ取材が出来なかったため、レクチャーを受けたメンバーから生の声を届けていただきました。飼育係さんの協力無しには実現できなかった研修です。参加したメンバーからは「参加してよかった」「勉強になった」「質問にも答えていただきガイドに役立てたい」等々の感想が寄せられ充実した研修ぶりが伝わりました。



タンチョウについて：バックヤードには行きませんでした。隣のコウノトリと一緒に放飼場の前で話を聞かせていただきました。タンチョウは今は1羽しかいませんが、計画的な繁殖の難しさ、人に慣れるのは良くない等、動物園としての話が印象に残りました。餌を洗ったり振り回して食べる話は面白かったです。日本の天然記念物なのでもっとお客さんに見てもらいたいと思いました。(Sさん)

今回久しぶりにタンチョウの様子を飼育係の佐々木さんから聞くことができました。

現在2009年生まれの雄「アト」1羽しかいません。数年前までつがいで飼育され、バックヤードにも数羽のヒナが飼われていた頃と比べると寂しく感じます。佐々木さんによると、つがいで飼うと育った子をよそに移さないといけませんが、行き先の予定がないこと、繁殖させないように偽卵を抱かせると親鳥の体力を消耗させることなど、様々な理由でつがいで飼わないとのこと。ヒナの成長を見たいのは来園者の希望でしょうが、園側の事情を聞くにつれ、なかなか難しいものがあると思いました。隣のコウノトリも同じ事情で、つがいで飼ってはいますが、繁殖しないよう巣材の木の枝など置かないようにし、巣が作れないようにしています。それでも本能なのか巣を作ろうとし、完成せずにあきらめるそうです。これも切ない。

タンチョウは雑食性で冷凍のアジなども与えています。見ているとアジを振り回し、ちぎってたべるのですが、池に持っていきゆすいで食べていました。血や汚れを洗っているそうです。「さすが上品なタンチョウだ!」と思わず言ってしまいました。かたやコウノトリは2羽でエサを取り合っていました。

2種の鳥はどちらも国の天然記念物です。野生ではなかなかお目にかかれない鳥ですがZOOでは身近に見ることができます。これからも来園者に分かり易く、その特徴などを伝えられたらと思います。今回の話を生かしたガイドができたらと思いました。(Mさん)



マレーバク、3名で30分の予定時間を越えて研修しました。

まず、外でマレーバクの生息地域の環境保全の取り組み、それに協力する企業の事などの説明を受けました。そのあと、獣舎内に入って、獣舎内の温度管理(床のヒーターや天井からのヒーターなどによる)、敷き藁とフンなど排泄物からの健康管理、体重測定室などの説明を受けました。体重測定では、飼育係の坂本さんの実演測定もあって楽しく研修できました。(Oさん)

(感想) 飼育係の、「動物の可愛い的一步先に目を向けて欲しい」という言葉に共感を覚えました。パネルも伝え方に工夫があって、なるほどとおもいました。(Nさん)



クロサイの話聞くのはとても久しぶり。

今現在のエサの量を教えてもらったり、案内板についての意見を求められたりしました。

亡くなったヘイルストーンについても、その後の2頭の変化を含めて話を聞くことができ、貴重な機会となりました。今後のガイドに生かしていこうと思います。(Mさん)



バックヤードでは外へ行き来する扉の開け締めを実際にさせていただいたり、笹やペレットなども見せていただきました。バケツに入った大量のウンチを持たせてもらったりも…！レッサーパンダは6~7キロの体重なのに、1日のウンチの量が2キロと聞いてびっくりしました。

忙しい中、1時間しっかり説明してもらい、またこちらからの質問にも丁寧に答えて頂いてすごく勉強になりました。これで新しくガイドできる動物が増えそうです。忘れないうちにレッサーパンダのガイドデビューしたいと思います。(Fさん)



キリンの部屋の解説や餌について教えて頂きました。キリンたちエピソードの一つとして、めぐみちゃんのお腹の具合が時折悪くなる事を聞きました。そこで、はぐみちゃんをかなちゃんへのやに移したところ、あかりちゃんが急に居なくなって少し精神的に弱っていたかなちゃんが元気になり、めぐみちゃんも回復できたとの事でした。

かなちゃんは発情期に入っていて、イブキも反応しているのに今の環境では繁殖を目指す事はできず、早くリニューアル工事が終了しキリンもシマウマも広々と暮らせる日がくればいいな。(Iさん)

キリン担当の自分にとって今回の研修は最もインパクトのあるものとなりました。初のキリン舎内での研修、そして堂面さんから直々にお話を伺えるのですから。まずは堂面さんに用意して頂いたヘルメットと長靴を身に付け準備完了。長靴をしっかりと消毒してよいよキリン舎へ。身長が約4mあるキリンの部屋はさすがに天井が高いです。部屋は3つあり一番手前がメグミ、次にカナとはぐみが同居、一番奥にイブキが入ります。床材には藁を使用していますが、イブキの部屋以外は床材を砂に変更されたそうです。キリン達は気に入ってくれているとの事です。さて一番奥のいぶきの部屋、ここだけコンクリートの壁面に板がぐるりと設置されています。ここは産室も兼ねていて、産後間もない赤ちゃんキリンが立とうとしてふらついた時、頭を壁にぶつけてもケガをしないようにとの配慮による設置です。キリン飼育係の愛を感じました。ここは足に障害を持ったはぐみが生まれ、はぐみを立たせるために動物園スタッフが壮絶な試みを繰り返した場所。キリンと人の努力の痕跡が静かな空間に残っているようでした。ここを見れて良かった。最後にエサの備蓄庫を見学。放飼場のフェンスにいつも吊るされているシラカシやアラカシ、マメ科の牧草ルーサン、固形飼料のペレットが並びます。そして目を引いたのが何やら真っ白な粉…！なんと牡蠣の殻を粉末にしたものだそうです。キリンのカルシウム不足を補うのだとか。キリンの健康を牡蠣が支えているなんて、その意外な繋がりに驚きました。できれば牡蠣の身の方も味わって欲しいけどそりゃ無理か…。堂面さん長時間ありがとうございました。(Hさん)



今回初めて『小獣舎』をキーパーの橋高さんから研修しました。ハクビシン、アナグマ、タヌキ、キツネをまずは展示場から説明してもらいました。いつも寝ているハクビシンだが、朝早い時間は活動している事や、キツネの『キラ』は今、発情期で、いつもは見えない場所にいるが、今なら家族全員そろって見える事や、アナグマの背中・お尻の毛が抜けているのはストレスからなど、分かりやすく説明されました。

その後バックヤードへ行くと、裏側は思っていたより広く、びっくりしたのは小獣舎がキツネ・タヌキとハクビシン・アナグマの2つに分かれていた事です。年期も経ちレトロで狭いですが、飼育係の手入れが良く、きれいに整っていました。閉園後バックヤードの戸は開けたままにし、出入り自由になっているがほぼ帰らないと言われていました。アナグマの出産後の育児室も見ました。他のアナグマから分からないように育てないと子どもを食われてしまう事、育児に疲れた母が子を食えることもあると…。餌では、調理場でそれぞれの切り方や食べ物の違いの説明、冷蔵庫の肉なども見ました。展示場に戻り、個体それぞれの性格や仕草など解説して貰うと、以前より違う角度から観察でき、じっくり観ることが出来ました。丁寧に分かりやすく、また面白く楽しく解説していただいた橋高さん、とても有意義な時間をすごさせていただき、ありがとうございました！！(Sさん)



作業ボラ活動報告



12月3日(土) 晴れ 参加者 16名

- ① 正面駐車場入口のサルビアをビオラに植替えました。
- ② 西園のサルビアをビオラに植替えました。
- ③ 展望台入口のハンキングをゼラニウムからビオラに掛け替えました。
- ④ 元50周年花壇のハンキングのビオラに株を足して豪華にしました。
《ひと言》残ったビオラの苗3株ずつ80袋を来園者にプレゼントしました。
種から育てたビオラがそれぞれの場所で咲くのは嬉しいですね♪



12月17日(土) 雨 参加者 10名

- 雨天の為、科学館2階ホールにてミーティングをしました。
これまでの振り返りと、来年に向けて植栽する花の、色と種類を再検討しました。
《ひと言》ビオラの花柄摘みは雨のため中止するもビオラは寒さにも耐えて
可憐に咲いています。



1月21日(土) 晴れ 参加者 18名

- 前日20日に秋篠宮さまが安佐動物公園に来園されました。お迎えの為に集めて正面に並べてあった丸鉢を全員で元の位置に戻し、その後3班に分れてビオラの花柄摘みと草取りをしました。手分けして、時間内に順調に終わりました。
《ひと言》新年明けて初作業でした。ビオラは良く育ち咲き誇っています。
ビニールハウスのランキュラスも鹿?に芽をかじられても再度発芽して育っています。今年の新人募集にも沢山参加者がいる様で楽しみです。



作業グループの皆さんへ

- ★ 3月・4月の活動日は
3月4日、3月18日、の第1、第3土曜日 / 4月1日、4月15日、の第1、第3の土曜日です。
- ★ 作業の進捗状況で上記以外に活動日が増える場合があります、ご協力お願いします。
- ★ 集合時間は 9:30 の通常時間です。
- ★ それぞれの方法で「参加確認」の返信をお願いします。
- ★ 来園のあらゆる方々を花の彩りで歓迎しましょう。



3月4日(土)は、養成講座との連携で、作業ボランティアの研修を受けている方々に活動の様子を見ていただいたり、交流したりする予定です。4月からスムーズに活動を開始できることを願っています。

記録広報係 Sさん



ひつじ村から

ひつじ村は、原則、毎月第4日曜日、安佐ZOOのどこかで村開き。ピーちくパークで暮らすヒツジたちにもらった羊毛を、洗う、解す、染めるなど、イベントの材料準備が主な作業です。グループ問わず、興味ある方、通りすがりの見学がてらお茶だけでもOK、住民登録随時受付中！



○活動報告

- ・1月22日は寒波予報のため中止。

○3・4月活動予定

- ・3/26(第4日曜日)毛解しなど
- ・4/23(第4日曜日)

毛刈りが済んでいれば洗います。

刈られた毛がなければ今年の毛を染めます。

☆興味ある方の参加、お待ちしております。



ASAZOOボランティアのみなさまへ



今号は、2022年度「ずうぼらだより」最終便です。

ガイド・作業ボランティアの活動の様子や次回の予定などをできる範囲で「伝わる・繋がる」を心がけて書いてきました。また、連絡会の報告やイベントの報告などもお伝えしました。投稿へのご協力ありがとうございました。お役に立てていたら幸いです。

◎園からは来年度ボランティア継続されるかどうかの「**ボランティア活動継続意向調査**」が同封されています。さらに、役員改選のための「**役員立候補・推薦について**」や「**参加確認**」も同封しています。これらは**同封の返信封筒**で3月3日(金)までに返信をお願いします。

◎4月2日(日)はASAZOOボランティアーズの**総会**です。令和5年度のスタートですから、可能なかぎりガイドボランティア・作業ボランティア全員参加で行いたいと思います。よろしく申し上げます。

・日時：**令和5年4月2日(日) 13:00～15:00 総会**

※午前中は養成講座のため、総会は午後からです。お気を付けてください

*作業グループは前日の4月1日(土)9:30～活動が始まります。

動物園ニュース

▷マレーバクの「ヒコボシ」が死亡 (1/5)

ヒコボシ(雄、10歳)は、2022年12月末から食欲が落ちてきたため、治療を続けてきましたが、1月5日朝に死亡しているのを確認しました。解剖の結果、腸ねん転による閉塞を起こしていました。2018年の来園以来、たくさんの方に親しんでいただき、ありがとうございました。



▷はちゅうるい館が再開 (2/13)

はちゅうるい館は設備の故障のためしばらく閉鎖していましたが、2023年2月13日より開館しました。ただし、以下の動物については引き続き展示を中止します。

【1階】オヒキコウモリ、コウベモグラ

【2階】ヨーロッパアシナシトカゲ、コロンビアレインボーボア、ボールニシキヘビ

▷まんが動物園 (2/1~28) & まんがクイズラリー (2/12・19・26) を開催

飼育係が描いた動物解説まんがを2月1日(水)から園内約30か所で掲示しています。このまんがは、飼育係ならではの視点で動物の生態や日々の出来事について描かれており、入園者が動物について楽しく学ぶことができます。

また、このまんがを使ったクイズラリーを2月12日、19日、26日に開催しています。



☆ 新型コロナウイルスの影響

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、当面の間、一部の施設・サービス等の利用及び一部イベント等については中止しております。

【利用を中止する施設・サービス等】 期間：当面の間

・動物とつなひき(動物科学館内)

【中止するイベント等】 期間：当面の間

・ポニー乗馬、テンジクネズミのふれあい
 ・バックヤードガイド
 ・サンちゃんツアー
 ・なかよし動物教室